

具  
体  
化  
。

## 株主のみなさまへ

### 第105期 報告書

平成25年1月1日～平成25年12月31日

#### CONTENTS

株主の皆様へ	1
事業別の概況	3
トピックス	5
中期経営計画「ペガサス」	7
グローバルネットワーク	9
CSRトピックス	10
連結財務諸表	11
会社概要	13
株主ひろば	14

昭和電工株式会社

証券コード 4004



第105期の報告書をお届けするにあたり、  
一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 **市川 秀夫**

当期の国内経済は、金融緩和や財政出動等の経済対策による株価上昇、円高の是正等が進展したことを受け、個人消費が持ち直すとともに、企業収益の改善もみられ、緩やかに回復いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画「ペガサス」において、「グローバル市場で特徴ある

存在感のある化学企業」の実現に向け、積極的な事業競争力強化施策を推進いたしました。

この結果、当期の連結営業成績につきましては、売上高は、主に石油化学部門の増収により、8,480億71百万円と前期比14.6%の増収となりました。営業利益は、石油化学、アルミニウム、化学品の各部門で増益となりましたが、エレクトロニクス、無機の両部門が減益となり、259億53百万円と前期比7.7%の減益となりました。経常利益は、為替差益の計上等により234億88百万円と前期比0.2%の増益となり、当期純利益は、90億65百万円と前期比3.2%の減益となりました。

期末配当につきましては、前期と同額の1株につき3円とさせていただきます。

当期の設備投資につきましては、リチウムイオン電池用包材の生産能力増強工事を完了いたしました。さらに、黒鉛電極の生産能力増強工事、その他の設備増強、合理化、生産維持、環境保全等の工事を実施し、当期の設備投資総額は、444億円となりました。

当期の資金調達につきましては、金融機関からの借入金およびコマーシャル・ペーパーの発行により調達を行いました。また、当期末有利子負債残高は、連結対象となった子会社が増加したこと等により、前期末に比べ114億円増加し、3,537億円となりました。

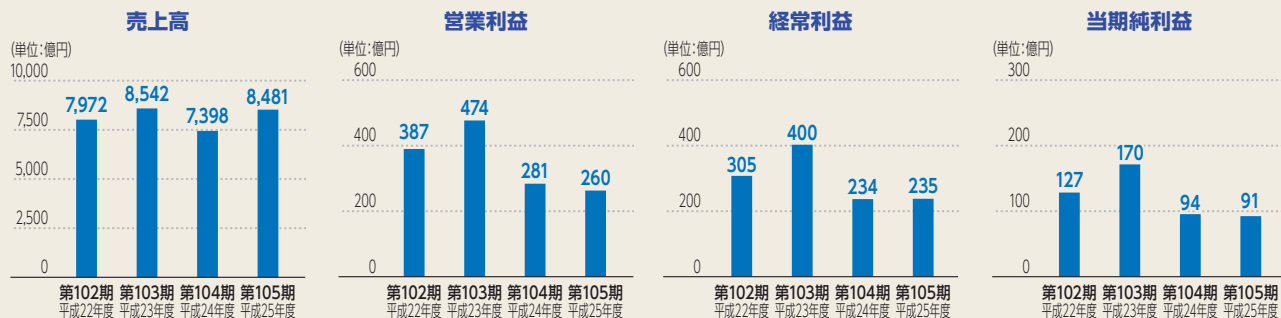
今後の国内の経済見通しにつきましては、経済対策の効果により、景気は緩やかに回復していくことが見込まれますが、第2四半期以降に消費税率引き上げによる個人消費等への影響に加え、新興国を中心とした海外経済の下振れ懸念、電力・原燃料価格の上昇等により、引き続き厳しい企業経営環境が予想されます。

一方、豊かさを持続性が調和する社会の実現に向け、「生活の利便性や快適性の向上」、「電子産業分野における一層の高度化」、「健康で安全な社会の実現に向けての地球温暖化対策と環境の保全」、「化石エネルギー依存度低下、省エネルギー推進」など、人類共通の諸課題に対応するための新技術の開発と事業化が強く求められています。

当社グループは、2014年より、中期経営計画「ペガサス」の後半2年間の計画であるPhaseⅡをスタートさせております。その概要につきましては、7-8ページでご報告いたしますが、ハードディスクと黒鉛電極を両翼とする成長戦略に加え、アルミ缶、高純度アルミ箔、高純度ガス、機能性化学品の4事業を新たに「成長」事業と位置付け、拡大するアジア市場において事業展開を加速させるとともに、国内事業の体質強化を図ってまいります。

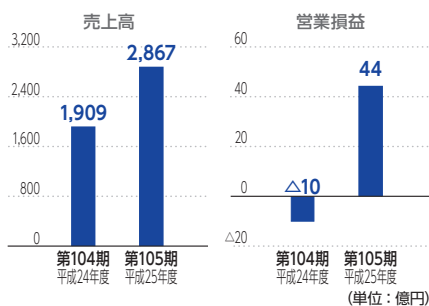
株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解をいただき、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト



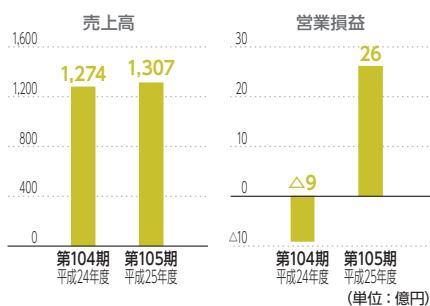
## 石油化学部門

オレフィン事業は、販売数量増加に加え、原料ナフサ価格の上昇により販売価格が上昇し増収となりました。有機化学品事業は、酢酸ビニル、アリルアルコールの販売数量増加により増収となりました。



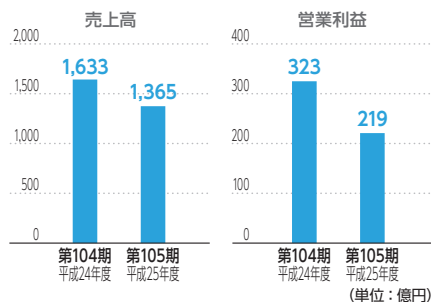
## 化学品部門

基礎化学品事業は、アクリロニトリルは市況が緩やかな上昇に転じ、合成ゴム「ショウブレン®」は、輸出が増加したことにより増収となりました。産業ガス事業は、水素等の販売数量減少により減収となりました。情報電子化学品事業は、輸出が増加したことにより増収となりました。機能性化学品事業は、小幅増収となりました。



## エレクトロニクス部門

ハードディスク事業は、低調なパソコン需要の影響を受け販売数量が減少し減収となりました。電子機能材事業は、レアアース磁石合金は、顧客業界の厳しい在庫調整の影響を受け、また化合物半導体は、前期に実施した構造改革により窒化ガリウム系LED事業が連結対象外となったため、減収となりました。



32.3%  
石油化学  
部門

14.8%  
化学品部門

15.4%  
エレクトロニクス  
部門

7.4%  
無機部門

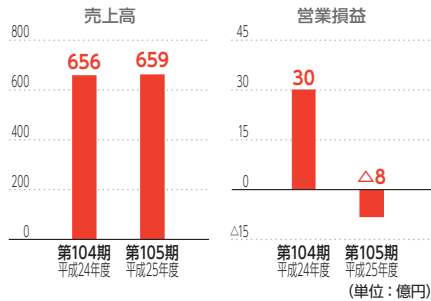
10.2%  
アルミニウム  
部門

19.9%  
その他部門

売上高構成比率

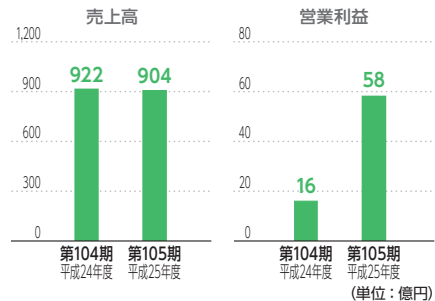
## 無機部門

黒鉛電極事業は、欧州における鉄鋼需要の低迷や中国鉄鋼業界の過剰生産等の影響を受け、販売数量が減少し減収となりました。セラミックス事業は、電子材料分野向けを中心に販売数量が増加し増収となりました。



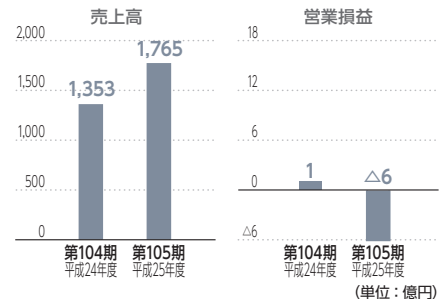
## アルミニウム部門

アルミ圧延品事業は、電解コンデンサー用高純度箔は、顧客業界の在庫調整が第1四半期に終了し、販売数量が増加し増収となりました。アルミ機能部材事業は、主に「ショウティック®」が旺盛な海外の自動車生産を受け、販売数量が増加し増収となりました。また、アルミ缶事業は、前期並みの売上高となりました。昭和電工アルミ販売株式会社は、当期に、昭光通商株式会社の子会社とし、その他部門に移管したことにより、当部門は総じて減収となりました。



## その他部門

リチウムイオン電池材料は、スマートフォン、タブレット用途向けの販売数量が増加し増収となりました。昭光通商株式会社は、主に海外関連事業が増収となり、また、昭光通商（上海）有限公司等を連結子会社としたため、増収となりました。



2013/7

化学品部門

ハイシリカゼオライト生産設備の新設を決定

ユニオン昭和株式会社は、ハイシリカゼオライトを当社東長原事業所において生産することを決定いたしました。ハイシリカゼオライトは、吸着材である合成ゼオライトの一種で、高い疎水性により、揮発性有機化合物の除去や脱臭に使用され、環境、エネルギー分野等での需要増加が見込まれております。



合成ゼオライト製品群

2013/9

パワー半導体用6インチSiC  
エピタキシャルウェハーの販売を開始

当社は世界最大(当社推定)となる直径6インチのSiCエピタキシャルウェハーの量産化技術を確認し、販売を開始いたしました。また、4インチ品においても低欠陥化を進め均一性を向上させた新グレード製品を開発いたしました。



6インチSiCエピタキシャルウェハー

2013/10

アルミニウム部門

電解コンデンサー用高純度箔の工場を中国に竣工

昭和電工鋁業(南通)有限公司は工場建設を完了し、高純度箔の量産を開始いたしました。エコカーや太陽光発電向けの需要伸長が見込まれる中国市場へ、高品質の高純度箔を供給してまいります。



竣工式の模様

2013/8

石油化学部門

独自製法による酢酸エチル  
生産設備の新設を決定

当社は、大分コンビナートにおいて、原料のエチレンに酢酸を直接付加する当社が開発した製法を用いた酢酸エチル生産設備を新設することを決定いたしました。新設備の年間生産能力は10万トンで、2014年6月より営業運転を開始する予定です。

2013

7

8

9

- 石油化学部門
- 化学品部門
- エレクトロニクス部門
- 無機部門
- アルミニウム部門
- その他部門

2013/11 **エレクトロニクス部門**  
**世界最大容量ハードディスクの  
 量産を開始**

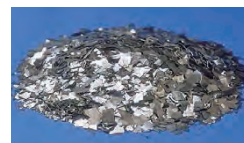
当社は、2.5インチサイズとしては世界最大(当社推定)の記録容量となる、1枚あたり670ギガバイトのハードディスクの量産を開始いたしました。



ハードディスク

2013/11 **エレクトロニクス部門**  
**一般産業用途向けジスプロシウムフリー  
 磁石用合金の開発に成功**

当社は、ジスプロシウムを使用せずに従来品と同様の性能を持つ、一般産業用途向けネオジム磁石用合金の量産を開始いたしました。また、ジスプロシウムの添加量が多い電動パワーステアリングや電気自動車のモーター用途等向けへの開発を進め、省ジスプロシウム化に取り組んでまいります。



レアアース磁石用合金

2013/10 **アルミニウム部門**  
**リデュース・リユース・リサイクル推進  
 功労者等表彰にて経済産業大臣賞を受賞**

当社グループが、これまで40年以上にわたり行ってきた全社員参加のアルミ缶リサイクル活動が評価され、同賞を受賞いたしました。アルミ缶リサイクル活動の収益金は、社会福祉協議会や障害者サークル等を通じて地域社会の福祉活動等に活用していただいております。

11

12

10

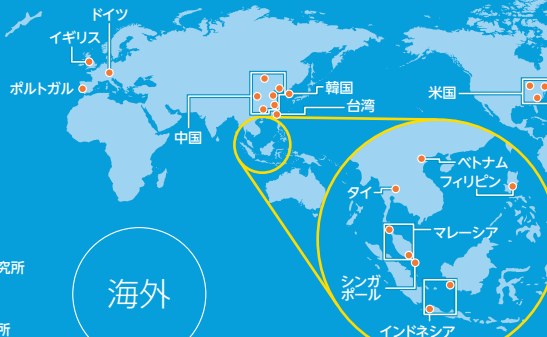
当社のネットワーク

国内と海外に広がる  
 ネットワークで個性的な製品を  
 安定的かつタイムリーに供給しています

国内

- 秩父事業所
- 大町事業所
- 塩尻事業所
- 徳山事業所
- 彦根事業所
- 龍野事業所
- 名古屋支店
- 堺事業所
- 大阪支店
- 喜多方事業所
- 東長原事業所
- 伊勢崎事業所
- 小山事業所
- 本社
- 先端技術開発研究所
- 千葉事業所
- 川崎事業所
- 応用化学品研究所
- 横浜事業所
- 福岡支店
- 大分コンビナート

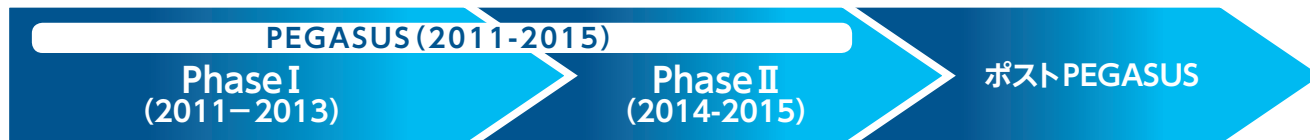
海外







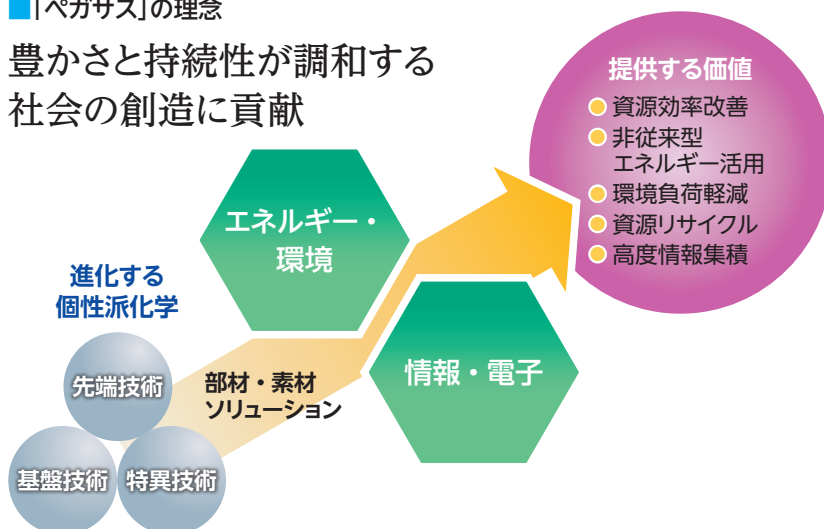
## Phase II (2014年～2015年) をスタート PEGASUS



当社グループは、中期経営計画「ペガサス」の後半となる2014年から2年間の計画PhaseIIをスタートしました。2011年から開始した5年間の中期経営計画「ペガサス」では、「エネルギー・環境」と「情報・電子」の2つの中核事業領域を設定し、ハードディスクと黒鉛電極を主力事業とする基本戦略のもと、「個性派化学」をさらに進化させ、強力かつ多様な事業群をグローバルに展開することにより、各市場におけるリーディングポジションの確立を目指しています。

### ■「ペガサス」の理念

豊かさと持続性が調和する  
社会の創造に貢献



## I Phase Iの振り返り

PhaseIにおいては、ハードディスク、黒鉛電極への積極的な投資、石油化学事業の競争力強化、アルミニウム事業における高付加価値事業への特化など事業強化施策を着実に実行するとともに、先端電池材料、高純度ガス等の育成、成長事業の強化に努めてまいりました。

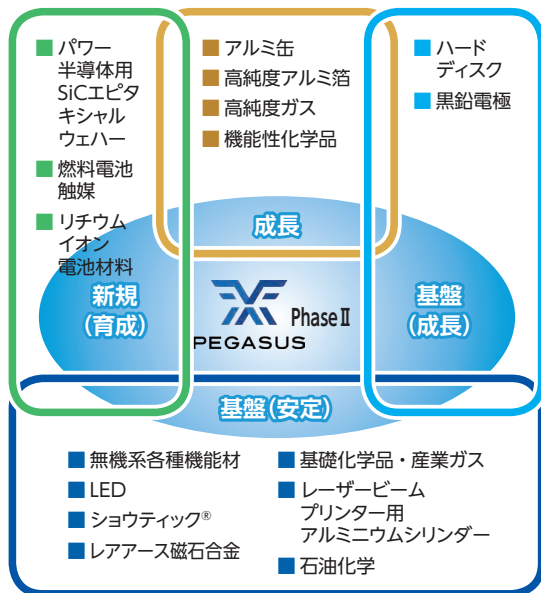


## II Phase IIの概要

Phase IIにおいても、ハードディスク、黒鉛電極を主力事業とする基本戦略に沿って、大きく変化した事業環境を踏まえ収益性向上を図るとともに、「ペガサス」後の展開に備えてまいります。

### 1. 事業ポートフォリオの見直し

目指す事業ポートフォリオを見直し、当初の「成長・育成」、「基盤(成長)」、「基盤(安定)」の3領域から、「新規(育成)」、「成長」、「基盤(成長)」、「基盤(安定)」の4領域に変更しました。また、高い成長が見込めるアルミ缶、高純度アルミ箔、高純度ガス、機能性化学品の4事業を、「成長」事業として新たに位置づけ強化を図ります。



### 2. 重点施策

#### 1. 海外展開の加速

高純度ガスやアルミ缶等の海外展開によりグループ事業の海外での成長を加速します。

#### 2. 「基盤(安定)」事業の収益性向上

①製品・技術の開発・高度化、②新たな需要・市場の開拓、③事業拠点の統合、④設備更新による競争力向上、⑤電力資源の有効活用の5点を重点テーマとして収益性の回復を図ります。

#### 3. コストダウン

定常的コストダウンに加え、ハードディスクなどエレクトロニクス事業の生産性向上やアルミナ事業の再構築など戦略的なコストダウンを実施します。

#### 4. M&A、アライアンス

Phase IIに引き続き、M&Aやアライアンスを積極的に活用します。なお、当社グループは、2014年1月にベトナムのアルミ缶メーカー Hanacans社(略称)の株式91.75%を取得することで、同社の主要株主と合意しました。

### 3. 2015年計数目標

(単位:億円)

	2013年実績	2014年予想*	2015年計画
売上高	8,481	8,900	9,500
営業利益	260	320	500
当期純利益	91	120	250

\*2014年予想は2014年2月13日発表値

アルミニウム連続鋳造棒・鍛造品

# SHOTIC®

## グローバル展開の強化、拡大

当社グループは、独自に開発したアルミニウム連続鋳造棒「SHOTIC®(ショウティック®)」と、これを素材とした鍛造品をコンプレッサー、エンジンピストン、サスペンション等の自動車部品向けを中心にグローバルに販売しています。自動車市場の伸長に合わせ、鋳造品から鍛造品までの一貫生産拠点である喜多方事業所に加え、鍛造品を生産する拠点をポルトガルとシンガポールに置き、各地域の顧客のニーズに応える供給体制を構築してきました。自動車市場は新興国を中心に今後も伸長し、2016年にはアセアン、インド、中国での生産が世界の約3割を占めると予想されています。現在、高い成



長が見込まれるアジア市場での供給体制を強化するため、2014年中の量産開始予定でマレーシアに鋳造工場を建設中です。また、さらに機能性を高めた鋳造棒および鍛造品の開発も進めており、今後とも、アルミニウム部門のコアビジネスとして、グローバル展開の強化、拡大を図っていきます。

### 生産・開発拠点

ポルトガル/  
鍛造工場

新拠点 ショウティック・マレーシア

2014年中の量産開始予定

ショウティック・ヨーロッパ

#### 欧米を中心に安定供給体制を確立

欧米市場への安定供給拠点として、また、自動車部品のアルミ化が進む欧州の技術動向をいち早くキャッチするアンテナ機能として、立地の利点を最大限に活かしています。

喜多方(福島) /  
鋳造～鍛造一貫工場

マレーシア /

鋳造工場

シンガポール /  
鍛造工場

### 喜多方事業所

#### マザー工場としての機能強化

マザー工場としてグローバル展開を統括するとともに、材料・鋳造・鍛造の各技術の開発拠点として、より一層の機能強化を図っています。

### ショウティック・シンガポール

#### マレーシア・新鋳造工場との連携

隣接するマレーシアの新鋳造工場から素材の供給を受けることにより、アジア市場において、鋳造品から鍛造品までの一貫生産により競争力を発揮していきます。

## CSRトピックス

社会・環境への  
取り組み

当社グループは、事業活動を通じてすべてのステークホルダーの皆様へ信頼をいただき、応援していただけること、社員が誇りを持って働ける場を築きあげることがCSRの基本と考えております。当社グループが目指す「豊かさを持続性が調和する社会の創造に貢献する」ことへの取り組みとして、化学・環境教育、地域対話、海外での活動などを通じた社会との関わりについてご紹介いたします。

SEI's Open Houseを  
実施しました

ショウワ・エステリンド・インドネシアでは、工場の近隣地域の住民の方々へ当社を理解いただくため、2011年から工場見学ツアー（SEI's Open House）を実施しています。2013年は、高校生を対象に化学実験のデモンストレーションや、プラントツアーを行い、参加した高校生からは、「来年も参加したい」などのコメントをいただきました。



化学実験デモンストレーション



プラントツアーの様子

夢・化学-21  
子ども化学実験ショー in 盛岡

「子ども化学実験ショー」は2012年から全国展開を開始し、当社も東京での出展に加え、2013年は盛岡で開催された実験ショーに参加いたしました。子どもたちに“化学のフシギ”を体感してもらうことを目的とした実験体験イベントは、多くの子どもたちでにぎわい、化学のおもしろさを実感していただきました。



「子ども化学実験ショー」in 盛岡

## 福島・会津企業マルシェを開催

福島県会津若松市、喜多方市の商工会議所との共催で3回目の「福島・会津企業マルシェ」を開催いたしました。当日は、地域物産品を購入する当社社員をはじめ多くの方々でにぎわいました。また、会津のマスコットの「あかべえ」も来場し、マルシェを盛り上げてくれました。

あかべえ



「企業マルシェ」の様子

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期 平成25年12月31日現在	前 期 平成24年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>374,599</b>	<b>342,108</b>
現金及び預金	68,250	51,606
受取手形及び売掛金	156,090	138,189
たな卸資産	120,156	121,761
繰延税金資産	4,810	5,733
その他	25,548	24,925
貸倒引当金	△ 256	△ 107
<b>固定資産</b>	<b>611,172</b>	<b>591,054</b>
有形固定資産	494,087	473,253
無形固定資産	10,960	10,318
のれん	—	120
その他	10,960	10,198
投資その他の資産	106,125	107,483
投資有価証券	78,688	67,778
繰延税金資産	15,889	27,494
その他	12,080	12,753
貸倒引当金	△ 531	△ 542
<b>① 資産合計</b>	<b>985,771</b>	<b>933,162</b>

(単位:百万円)

科目	当 期 平成25年12月31日現在	前 期 平成24年12月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>346,945</b>	<b>323,118</b>
支払手形及び買掛金	124,194	107,241
借入金・社債・コマーシャルペーパー	137,876	135,364
その他	84,875	80,513
<b>固定負債</b>	<b>293,016</b>	<b>295,078</b>
借入金・社債	215,811	206,898
繰延税金負債	3,305	2,110
再評価に係る繰延税金負債	39,849	39,905
退職給付引当金	20,310	23,433
その他	13,741	22,731
<b>② 負債合計</b>	<b>639,961</b>	<b>618,196</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>261,050</b>	<b>255,812</b>
資本金	140,564	140,564
資本剰余金	62,221	62,222
利益剰余金	58,414	53,172
自己株式	△ 149	△ 145
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>40,161</b>	<b>16,922</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>44,599</b>	<b>42,232</b>
<b>純資産合計</b>	<b>345,811</b>	<b>314,966</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>985,771</b>	<b>933,162</b>

**POINT**

- ① 資産合計** 四川昭鋼炭素等の連結子会社の増加や海外子会社の資産の円安による円換算額の増加等により、前期末比526億円の増加となりました。
- ② 負債合計** 新規連結子会社の増加や黒鉛電極の生産能力増強投資等により有利子負債が増加し、前期末比218億円の増加となりました。
- ③ 営業活動によるキャッシュ・フロー** 税引前利益の増加等により、前期比103億円の収入増となりました。

## ● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで	平成24年1月1日から 平成24年12月31日まで
売上高	848,071	739,811
売上原価	739,017	628,628
売上総利益	109,054	111,183
販売費及び一般管理費	83,101	83,076
営業利益	25,953	28,108
営業外収益	6,720	5,567
営業外費用	9,185	10,226
経常利益	23,488	23,448
特別利益	6,269	812
特別損失	5,724	12,973
税金等調整前当期純利益	24,033	11,288
法人税、住民税及び事業税	3,519	4,925
法人税等調整額	10,241	△ 4,674
少数株主損益調整前当期純利益	10,274	11,037
少数株主利益	1,209	1,670
当期純利益	9,065	9,368
一株当たり当期純利益	6.06円	6.26円

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで	平成24年1月1日から 平成24年12月31日まで
③ 営業活動による キャッシュ・フロー	63,565	53,310
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 46,738	△ 40,209
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 6,805	△ 20,150
現金及び現金同等物に 係る換算差額	5,638	3,264
現金及び現金同等物の 増減額	15,660	△ 3,786
現金及び現金同等物の 期首残高	51,254	55,026
その他の現金及び 現金同等物の増加額	1,261	14
現金及び現金同等物の 期末残高	68,175	51,254

## ● 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

平成25年1月1日から平成25年12月31日まで	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	140,564	62,222	53,172	△ 145	255,812	16,922	42,232	314,966
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 4,490		△ 4,490			△ 4,490
当期純利益			9,065		9,065			9,065
自己株式の取得				△ 5	△ 5			△ 5
自己株式の処分		△ 0		1	1			1
その他			667		667			667
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						23,239	2,368	25,607
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 0	5,242	△ 4	5,238	23,239	2,368	30,844
当期末残高	140,564	62,221	58,414	△ 149	261,050	40,161	44,599	345,811

## ● 連結決算対象会社

連結子会社数：42社

持分法適用会社数：15社

● **会社概要** (平成25年12月31日現在)

社 名 昭和電工株式会社  
 英文社名 Showa Denko K.K.  
 本 社 〒105-8518 東京都港区芝大門一丁目13番9号  
 電話(03)5470-3111(総務グループ)  
 設 立 昭和14年6月  
 資 本 金 1,405億64百万円  
 従業員数(連結) 10,234名  
 ホームページ <http://www.sdk.co.jp/>

● **役員** (平成26年3月27日現在)

**取締役・監査役**

代表取締役会長	高橋 恭平	執行役員	水野 義治
代表取締役社長兼社長執行役員	市川 秀夫	執行役員	Robert C. Whitten
代表取締役副社長兼副社長執行役員	坂井 伸次	執行役員	中條 哲夫
取締役兼常務執行役員	鯉沼 晃	執行役員	西村 嘉介
取締役兼執行役員	福田 俊司	執行役員	水谷 温
取締役兼執行役員	天野 賢	執行役員	石川 二郎
取締役兼執行役員	武藤 三郎	執行役員	上口 啓一
※取締役	秋山 智史	執行役員	高崎 完二
※取締役	森田 章義	執行役員	田 仲 均
常勤監査役	野村 一郎	執行役員	新井 龍晴
常勤監査役	坂本 明	執行役員	河村 伸彦
※監査役	手塚 裕之	執行役員	田中 淳
※監査役	小原 之夫	執行役員	森川 宏平
※監査役	齋藤 聖美	執行役員	稲泉 淳一
		執行役員	竹内 陽一

(注) ※印の取締役および監査役は、社外役員であります。

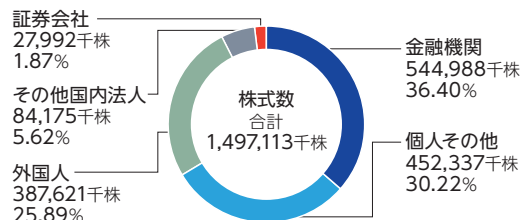
● **株式の状況** (平成25年12月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 3,300,000,000株  
 発行済株式総数 ..... 1,497,112,926株  
 株主数 ..... 99,786名

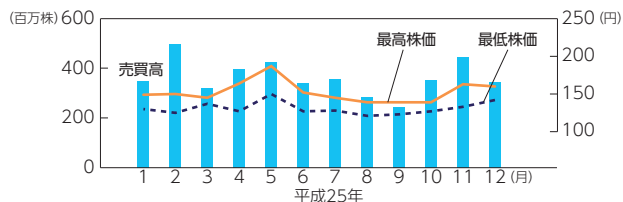
● **上位10名の株主** (平成25年12月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	84,285	5.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	56,329	3.76
富国生命保険相互会社	55,168	3.68
株式会社損害保険ジャパン	36,868	2.46
第一生命保険株式会社	36,000	2.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	27,407	1.83
明治安田生命保険相互会社	26,447	1.77
昭和電工従業員持株会	24,781	1.66
日本生命保険相互会社	23,298	1.56
株式会社みずほ銀行	20,000	1.34

● **株式の所有者別状況** (平成25年12月31日現在)



● **株式データ**





## 上場株式等の配当等に係る税金についてのご案内

2013年12月31日をもって上場株式等の配当等に係る軽減税率が廃止され、2014年1月1日以降に支払開始日を迎える上場株式等の配当等の税率は本則税率となります。また、2013年1月1日から2037年12月31日までの25年間は、復興特別所得税として基準所得税額に対して2.1%を乗じた金額が課税されます。

なお、上場株式等の配当等に関する具体的な税率は、下表をご参照願います。

	2013年	2014年～ 2037年	2038年～
上場株式等の配当等の税率	10.147%	20.315%	20%
所得税+復興特別所得税	7.147%	15.315%	15%
住民税	3%	5%	5%

- 左記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
- 詳細につきましては、所轄の税務署等にお問い合わせください。

## 買増・買取制度のご案内

当社単元株式1,000株未満の株式を保有の場合

### 買増制度

1,000株に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 単元未満株を600株保有の場合  
400株を**買い増し**して、1,000株とすることができます。



#### お手続きについて

1. 証券会社の口座に記録されている単元未満株式  
お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
2. 特別口座に記録されている単元未満株式  
当社の株主名簿管理人であるみずほ信託銀行証券代行部(TEL:0120-288-324)へお問い合わせください。

### 買取制度

1,000株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例) 単元未満株を600株保有の場合  
市場では売却できませんが、**市場価格で当社が買い取り**いたします。



#### ご注意事項

1. 買増、買取請求につきましては、当社で定める手数料が必要となります。
2. 買増請求につきましては、基準日(12月31日、6月30日)の直前など、請求の受付を停止する期間があります。



## 各種IRツールのご紹介

当社は、半期毎の報告書「株主のみなさまへ」、アニュアルレポート（英文）やCSRレポート等の各種IRツールを通じて、株主の皆様を始めとする多くの皆様に当社グループの事業活動をご理解いただけるよう努めております。

各種IRツールにつきましては、当社WEBサイトでご覧いただけます。



コーポレートサイト

▶▶ <http://www.sdk.co.jp/ir/library.html>



IRサイト

## 株主メモ

**事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで

**定時株主総会** 3月

**株主確定基準日**

- (1) 定時株主総会・期末配当 12月31日  
 (2) 中間配当 6月30日  
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

**公告方法**

電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。  
 公告掲載URL  
<http://www.sdk.co.jp/>

**単元株式数**

1,000株

**株主名簿管理人**

東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

**同事務取扱場所**

東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 本店証券代行部  
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL. 0120-288-324

(郵便物送付先)  
 (電話お問い合わせ先)

## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いいたします。株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)へ預託されていなかった株主様については、株主名簿管理人である左記のみずほ信託銀行株式会社の口座(特別口座といいます。)で管理させていただいております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話お問い合わせ先へお願いいたします。

未払配当金については、株主名簿管理人に加え、株式会社みずほ銀行の全国本支店でもお手続きいただけます。

## ご案内

当社は、「単元未満株式の買増制度」を導入しております。1単元(1,000株)に満たない株式をご所有の株主様は、単元未満株式と併せて1単元になる株式を買増請求することができます。お手続きなどの詳細については、当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)へお問い合わせください。  
 なお、単元未満株式の買取請求につきましても、お取扱いいたします。



適切に管理された森林資源を用紙の材料にしています。



IPA (イソプロピルアルコール) 等の有害物質を含む「湿し水」を使わない水なし印刷を採用し、VOCの発生を大幅に削減しています。



VOC (揮発性有機化合物) の発生が少ない、ベジタブルインクを使用しています。



色覚の個人差を問わず出来るだけ多くの方に見やすいユニバーサルデザインにしています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。